

新型コロナウイルス感染症予防接種事業、小久喜橋の補修設計業務などを行うため4億7924万6千円の補正を行うものです。また、7つの公共施設への太陽光発電設備等導入事業（PPA事業）の債務負担行為の追加です。

問 太陽光発電設備等導入事業（PPA事業）の事業者として、設立まもない白岡エナジー㈱を選定するリスクを市はどう考えているか。

また、募集要領に定められた提出書類である直近3年分の貸借対照表、損益計算書、業務実績調書等の提出はあったのか。

答 白岡エナジー㈱との契約の際には、実施する事業者が業務遂行困難な場合であっても、別の法人が事業を引き継ぐようにするなど、本市のリスクが最小限になるよう進めていく。

なお、白岡エナジー㈱は、設立まもない法人であるため、各書類の提出はないが、本事業を取り組むための技術提供を㈱アドバンテックから受ける旨や、同法人の業務実績を記載した理由書の提出を受けており、評価の参考とした。

各委員会における質疑

問 新型コロナウイルス感染症予防接種事業に関し、本市における新型コロナワクチンによる健康被害の件数は。

答 健康被害の申請件数は8件。うち、認定が5件、否認が1件、審議中が2件である。

問 橋梁長寿命化事業で小久喜橋の補修工事の設計費が990万円であるが、工事費はいくらの想定か。また、工事時期の予定は。

答 設計業務で補修方法等も含め検討した後に工事費が決定する。他市の事例では、数年前に1億2千万円程度であったと認識しているが、物価や人件費が高騰しているため更に費用が掛かるのではないかと想定している。



小久喜橋

また、工事時期は、高速道路を管理する東日本高速道路㈱と調整を行っているが、現時点では、8年度の実施を目指している。

問 コミュニティ助成事業で、昨年度は、今まで助成されなかった団体からの申請はなく、岡泉行政区からのみの申請だったという認識でよいのか。

答 そのとおりである。過去10年間を見ると、毎年平均で3団体程度から申請を受けているが、昨年度の申請は岡泉行政区のみであった。

問 定額減税について、市民から問い合わせはあるか。また、説明は行っているのか。

答 給与所得者や年金受給者からの問い合わせが多い。制度を市民に理解していただけるよう丁寧に説明している。

市は、債務負担行為の追加に当たり、次の事項について適切な措置を講ずること。

1. 「ゼロカーボンシティ宣言」の基本軸となる「白岡市エネルギービジョン」を早期に策定すること。
2. 市のゼロカーボンシティ推進における事業について、科学的・経済的知見に基づき客観的な評価及び審議を可能とする「白岡市エネルギー審議会」等を組織し、そのための必要な支援措置を講ずるよう努めること。
3. 公共施設への太陽光発電設備等導入事業（PPA事業）は、従来からの公共事業の延長としてではなく、過去に行われた事業や人間活動等によって損なわれた地球環境その他の自然環境を取り戻すことを目的として実施される旨を市民が理解し賛同できるように周知を徹底すること。なお、PPA事業における債務負担については、他自治体や一般事業者による実施例を参考にさらなる財政負担が生じないよう契約を行うこと。



生涯学習センター「こもれびの森」の
屋上に設置された太陽光パネル